

四国「持続可能な観光」推進ネットワーク第9回会議を開催

(ブランディング)

2月14日（金）、愛媛県大洲市で「四国『持続可能な観光』推進ネットワーク」の第9回会議を、対面とオンラインのハイブリッド方式で開催しました。会議では、今年度実施した事業の進捗状況と次年度実施予定の計画案の説明の後、各会員から今年度の総括と次年度の計画についてご報告いただき、（一社）黒潮町観光ネットワークからは観光庁から2月6日付でJSTS-Dロゴマークの使用承諾を得られた旨、報告がありました。これにより、四国内では10団体が同ロゴマークの使用承諾を得たこととなります。

会議の後半では、（一社）キタ・マネジメントから、「第2回サステナブルな旅アワード」（観光庁主催）において準大賞を受賞した「OZU STORIES | 大洲城下町再生の物語」の内容をご紹介いただきました。また、会議終了後には、（一社）キタ・マネジメントのご協力で「改修前の古民家及び改修されたホテル」の視察を行い、同地域における「サステナブルなまちづくり」の取り組みを確認することができました。

（実施日時）2025年2月14日（金）13:00～17:00 ※会議は15:00まで

（実施場所）会議：大洲商工会議所大ホール

視察：大洲城下町（いずれも愛媛県大洲市）

（参加者）ネットワーク会員19団体ほか10団体（※）46名

※アドバイザー：四国運輸局

オブザーバー：徳島県、愛媛県、高知県、大洲市、黒潮町

（株）阿波銀行、（株）百十四銀行、（株）伊予銀行、（株）四国銀行

（機構参加者）桑村本部長、竹内チームマネジャー、井上マネジャー、佐伯マネジャー



<会議の様子>



<視察の様子①>



<視察の様子②>

Greater WEST JAPAN連携会議を開催

(ブランディング)

2月28日（金）、広島県広島市で、西日本の広域連携DMO4団体（（一財）関西観光本部、（一社）山陰インバウンド機構、（一社）せとうち観光推進機構、当機構）が集まり、「Greater WEST JAPAN連携会議」を開催しました。各DMOの持ち回りで開催している本会議ですが、今年度の開催は今回が最後となります。

会議では、（一社）せとうち観光推進機構と連携を取りながら自主事業などを展開する（株）瀬戸内ブランドコーポレーションの井坂取締役から、同社が取り組む観光関連事業者への経営支援や資金支援などの活動内容の紹介があった後、今年度4DMOで取り組んだ活動を振り返りながら、次年度に向けた事業の実施計画と事業予算について協議を行いました。具体的には、海外旅行博を活用した情報発信とプロモーションについての共同出展先の検討、関西にある高級ホテルのコンシェルジュを活用した誘客プロモーションのセールス活動の検討、4DMOの共通ランディングページの今後の活用方法についての意見交換を行いました。

次ページに続く

会議後半からは、今年度の事業でご協力をいただいた、関西エアポート（株）にオブザーバー参加いただき、関西国際空港からのインバウンドの訪問地域などの最新情報を共有いただくとともに、インバウンドの誘客促進や神戸空港の国際線就航に関する意見交換を実施しました。

いよいよ、4月13日（土）から大阪・関西万博が開催されます。
引き続き、4 DMOや関係団体と連携を図りながら「旅マエ」プロモーション等を実施し、西日本そして四国の周遊促進に繋げてまいります。

（開催日時）2025年2月28日（金）14:00～17:00
（開催場所）ひろぎんホールディングスセミナールーム（広島県広島市）
（機構参加者）桑村本部長、松本統括副本部長、神野副本部長
清水CMO



<会議の様子>

2024年度 第4回修学旅行研究会に出席

（マーケティング）

2月7日（金）、東京都で開催された「2024年度第4回修学旅行研究会」に出席しました。研究会では、事務局から今年度の活動実績と次年度の研究会の継続、活動内容の予定について説明があり、各出席者からは今年度の振り返りと次年度の活動目標について報告がありました。

当機構からは、今年度については、3月に四国4県から提供いただいた教育旅行資料と当機構が作成している教育旅行向けの観光コンテンツ冊子を用いて、神奈川県、千葉県、埼玉県の旅行会社にセールスを実施予定であることを報告しました。

（開催日時）2025年2月7日（金）（開催場所）靖国九段南ビル（東京都千代田区）
（参加者）（公財）全国修学旅行研究協会、学識経験者、各自治体、観光協会、DMO
日本航空（株）、全日本空輸（株）
（機構参加者）長谷部チームマネジャー、井上マネジャー

日本遺産オフィシャルパートナーシッププログラム締結式に出席

（マーケティング）

2月13日（木）、文化庁が主催する日本遺産オフィシャルパートナーシップ締結式に出席しました。日本遺産オフィシャルパートナーシッププログラムとは、文化庁と企業・団体とが相互に協力し、日本の伝統・文化の魅力を国内外に向けて発信し、日本遺産ストーリーの体験・体感につなげることで、日本の有形・無形の魅力ある文化資源への理解を深め、日本遺産地域の活性化を図ることを目的に実施しているものです。この度、当機構は、広域連携DMOとして初めて同パートナーシッププログラムを締結いたしました。

当機構では、四国遍路をはじめとした四国に6件ある日本遺産について、パンフレットや各種イベントでの紹介などを通じて協力してまいります。

（開催日時）2025年2月13日（木）
（開催場所）セルリアンタワー東急ホテル
（東京都渋谷区）
（出席団体）25の企業及び団体
（機構参加者）半井代表理事
鎌田チームマネジャー



<都倉文化長官から贈呈>



<出席者全員で記念撮影>

JNTOマーケット研究会を開催

(マーケティング)

2月4日(火)、四国運輸局と当機構が主催して、「JNTOマーケット研究会」を開催しました。

本研究会は、インバウンドの地方誘客等を目的に、日本政府観光局(JNTO)の海外事務所長に海外市場における訪日旅行者の動向などを講演いただいています。昨年の春季に四国各県を通じて自治体とDMOに実施したアンケート結果に基づき、観光庁とJNTOで調整の結果、今回は香港事務所による講演となりました。JNTO発表の2024年暦年の訪日外客数で、香港は約268万人と日本への旅行人気が高く、四国への来訪の増加が期待されます。

研究会では、第1部でJNTO香港事務所丸山智恵彌所長から、香港における訪日客数の推移や最新のトレンド、行きたい日本の地方など、データを交えながら講演いただき、第2部で事前申込制により、四国内のDMO2団体と個別面談を実施し、現地旅行会社の特性や傾向など、活発な意見交換を実施しました。

当機構では、今後も四国の観光関係団体に対し、最新のインバウンド情報を伝えることができるよう、JNTO等との連携を深めてまいります。

(開催日時) 2025年2月4日(火) 14:00~16:10(日本時間)

(実施場所/参加者) オンライン開催/64名 ※第1部

(プログラム) 第1部 講演:「香港訪日旅行市場の動向」

第2部 個別面談

(機構参加者) 桑村本部長、清水CMO、竹内チームマネジャー
鎌田チームマネジャー、大上マネジャー



「2025年度新春・第2回特別セミナー座談会」に参加

(その他)

2月5日(水)、(一社)香川経済同友会の観光振興委員会主催の「2025年度新春・第2回特別セミナー座談会」に参加しました。

第1部では、イントロダクションとして、香川県文化芸術局長・瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局長の吉川健司氏による「瀬戸内国際芸術祭2025 内陸部や他業種との連携による新たなビジネスの可能性、地域活性化策について」と題した講演があり、第2部では、四国と香川の観光振興をテーマに、吉川氏のほか、高松空港(株)代表取締役社長 小幡義樹氏、(株)JR四国ホテルズ代表取締役社長 藤本聡氏、(株)JTB高松支店 四国エリア広域代表兼高松支店長 濱田充氏の4名のパネリストによるパネルディスカッションが行われました。

会では、瀬戸内国際芸術祭を中心とした香川県の観光資源の活かし方や課題に対する解決策などについて、様々な業種の参加者からも意見が上がるなど、活発な議論が繰り広げられました。

(開催日) 2025年2月5日(水)

(開催場所) セントラル第一ビル(香川県高松市)

(機構参加者) 桑村本部長、松本統括副本部長
竹内チームマネジャー、長谷部チームマネジャー
鎌田チームマネジャー、別宮マネジャー



<パネルディスカッションの様子>

「日本旅行協定旅館ホテル連盟四国支部連合会 第68回通常総会」に出席

(その他)

2月6日(木)、日本旅行協定旅館ホテル連盟四国支部連合会主催の「第68回通常総会」に出席しました。

総会では、「第1号議案 2024年度事業・決算・会計監査報告について」、「第2号議案 任期満了に伴う役員改選について」、「第3号議案 2025年度事業計画(案)及び予算(案)」などについて提案・審議のうえ、承認されました。その後開催された懇親会では、桑村本部長から挨拶と祝辞を述べさせていただきました。

(開催日) 2025年2月6日(木)

(開催場所) JRホテルクレメント徳島(徳島県徳島市)

(懇親会来賓) 四国運輸局 河野局長、同 鎌倉観光部長

徳島県 後藤田知事、徳島市 遠藤市長

(一社) 徳島県観光協会 藤岡理事長

四国旅客鉄道(株) 寺川取締役営業部長

(機構出席者) 桑村本部長



<河野運輸局長>



<後藤田徳島県知事>

四国遍路に関する国際シンポジウムを開催されました

(その他)

2月15日(土)、四国遍路世界遺産登録推進協議会が主催の「ここをつなげて、四国はひとつ 四国遍路を世界遺産に 国際シンポジウム」が、四国4県、各県教育委員会の後援のもと、開催されました。

シンポジウムでは、同協議会の長井会長、香川県の池田知事の挨拶の後、京都府立京都学・歴彩館館長の金田章裕氏から四国遍路のOUV(顕著な普遍的価値)に関する基調報告が、建築家であり、「自然、芸術、遺産を連携して建築設計・地域計画に関わる専門家集団(DRONAH)」創設メンバー・ディレクターのシカ・ジェイン氏からアジアと世界における巡礼に係る世界遺産の現状について基調講演がありました。

また、パネルディスカッションでは、シカ・ジェイン氏のほか、愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター長の胡光氏、世界遺産登録について造詣が深い、文化庁の鈴木地平氏を迎え(コーディネーター:稲葉信子氏[筑波大学名誉教授])、世界遺産登録に向けた課題などについて活発な議論が行われました。

シンポジウムを通じて、四国遍路の世界遺産登録に向けた機運を高める一日となりました。

(開催日時) 2025年2月15日(土) 13:30~16:30

(開催会場) 香川県立ミュージアム(香川県高松市) ※オンライン併用



<パンフレット>



<シンポジウムの様子>

第7回 四国圏域生態系ネットワーク推進協議会会議に出席

(その他)

2月26日（水）、国土交通省四国地方整備局が主催する第7回四国圏域生態系ネットワーク推進協議会会議に出席しました。

この協議会は、四国圏域において多様な主体が連携・協働し、コウノリ・ツル類を指標とした生態系ネットワークの形成と地域活性化及び経済振興の実現を図ることを目的に2018年2月に設立されました。

当日は、各出席者から四国圏域生態系ネットワークの推進状況や各地域の取り組みの紹介があり、当機構からは、桑村本部長より「四国における持続可能な観光への取り組み」について、持続可能な観光に取り組む理由、これまでの経過などを説明し、当会議に出席している自治体等に対して協働を呼びかけました。当機構は、四国圏域生態系ネットワーク会員が取り組む事業を持続可能な観光につなげることを目的に同協議会の構成員として、協力していきます。

（開催日時）2025年2月26日（水）14:00～17:00

（開催場所）高松サポート合同庁舎（香川県高松市）

（主な出席者）大学教授、農林水産省、国土交通省、環境省
四国4県、各自治体、民間企業等

（機構出席者）桑村本部長、鎌田チームマネジャー



<会議の様子①>



<会議の様子②>

高松観光コンベンション・ビューロー「令和7年賛助会員交流会」に参加

(その他)

2月21日（金）、（公財）高松観光コンベンション・ビューロー主催の「令和7年賛助会員交流会」に参加しました。交流会には、来賓に香川県の池田知事、高松市の大西市長、大見市議会議長にご臨席いただいたほか、市議会議員や賛助会員の皆さまなど、高松市内外の多くの方が出席しました。

来賓挨拶や古川理事長からの挨拶では、皆さま揃って、あなぶきアリーナ香川（香川県立アリーナ）のオープンや瀬戸内国際芸術祭、大阪・関西万博の開催などに触れられ、国内外から多くの来場者が見込まれているなかで高松市・香川県を世界に向けて大きく発信できる重要な機会であるとの認識を共有されました。

当機構も、これらイベント開催の好機を逃すことなく、関係団体と連携しながら、誘客促進に取り組んでまいります。

（開催日時）2025年2月21日（金）

（実施場所）JRホテルクレメント高松 飛天（香川県高松市）

（機構参加者）桑村本部長、藤井マネジャー



<来賓挨拶：池田香川県知事>



<来賓挨拶：大西高松市長>

「一日一斉おもてなし遍路道ウォーク」に参加

(その他)

2月23日(木)、NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク主催の「一日一斉おもてなし遍路道ウォーク」に参加しました。このイベントは、本格的な遍路シーズンを前に、参加者が一斉に四国各地の遍路道を歩いて点検などを行うことで、四国遍路への関心を高め、四国遍路の世界遺産登録への機運醸成を図ることを目的に開催しているもので、今回で10回目の開催となりました。

今回のウォークでは、四国4県の知事と県庁所在地の4市長も参加され、参加者総数も過去最高の10,015人に上るなど、非常に盛り上がった一日となりました。

当機構のチームは、八栗ケーブル登山口駅から志度寺までの遍路道を歩いて、危険だと感じる場所や迷いそうになった箇所がないか、トイレや休憩場所があるかなどを点検しました。

(開催日時) 2025年2月24日(日)

(参加区間) 第85番札所八栗寺～第86番札所志度寺

(機構参加者) 半井代表理事 ※同NPOの理事長として参加
桑村本部長、松本統括副本部長 ほか12名



<半井理事長挨拶>



<機構参加者集合写真>

四国経済産業局発行「SHIKOKU COLOR」を当機構HPで紹介

(その他)

四国経済産業局が発行する冊子「SHIKOKU COLOR ～四国で暮らす主人公たち～」を当機構HPで紹介させていただきました。

同冊子は、同局の若手職員が執筆者となり、同世代の若者や学生に向けて「四国の魅力を発信する」をいう思いから、四国で暮らし・働く「人」に焦点を当てることで、四国で「暮らすこと」「働くこと」について一緒に考えていただくきっかけにいただくために制作したものです。当機構では、観光名所や名物を支える地域の「人」の存在があってこそその「四国の魅力」であるという、執筆者などの思いに賛同し、掲載させていただきました。

掲載冊子はこちらから
ご覧いただけます



<冊子表紙>

今月のオウンドメディア情報等

(清水CMOからの情報)

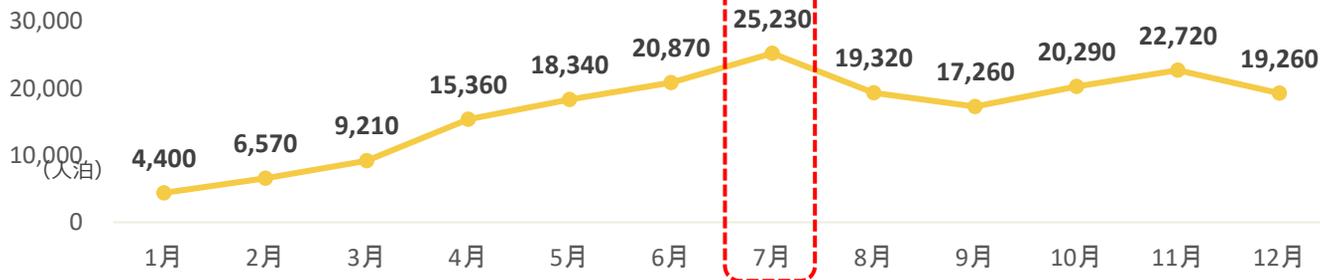
日本政府観光局（JNTO）によると、2024年10月の訪日外国人旅行者数（推計値）が3,019万2,600人（2019年比12.2%増）で、統計開始から過去最速で年間累計3,000万人を突破するなど、インバウンドの回復が顕著となっています。そこで先月と先々月に引き続き、今回は昨年12月に[日本政府が観光客向けのビザ発給要件緩和（※）を発表](#)した中国市場の概況をご紹介します。



※2025年2月末現在。確定情報ではないことにご留意ください。

【中国からの四国述べ宿泊者数（月別）】

出典：観光庁「宿泊旅行統計」（2024年1月～2024年12月）



【中国の主な祝日及び休暇（一部）】

春節（旧正月）	1月28日～2月4日（※2025年）
国慶節	10月1日～10月8日
学校の長期休暇	1月中旬～2月中旬の約30日間、7月上旬～8月下旬の約50日間（※学校年度9月～翌年8月）

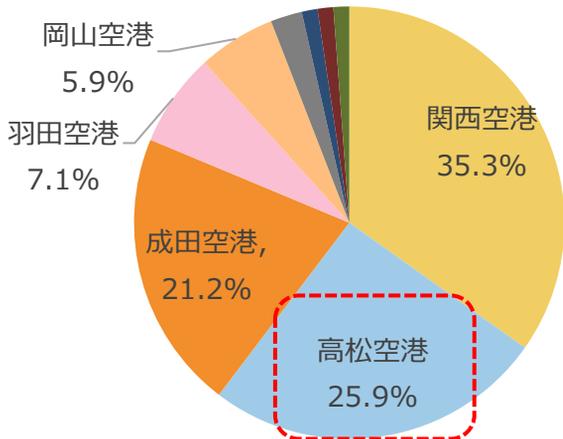
- 中国からの訪日客が多いのは全国的に7月、8月で四国も同様の傾向。
- 四国に訪れた方の約75%が香川県に宿泊。2月末現在、四国で唯一中国（上海）と直行便が運航されている高松空港の存在が大きいと考えられます。

《ビザ発給要件の緩和（※）に関して》

※2025年2月末現在。確定情報ではないことにご留意ください。

- 滞在可能日数が15日から30日と延長されることで、長期滞在客に対して、ゴールデンルート+α（四国など）の訴求が期待できます。
- 富裕層向けに10年間有効の観光用ビザの新設を検討しているとの報道もありました。詳細は不明ですが、富裕層のリピーター向けの訴求も今後重要になってくるのではと考えられます。

【四国旅行者の入国港】



出典：観光庁「インバウンド消費動向調査（個票データより算出）」
（2024年4月～2024年9月）

- インバウンド消費動向調査によると、関西国際空港からの来訪が最も多く、次いで高松空港が多くなっており、直行便の存在が大きいといえます。※松山-上海間の直行便はコロナ禍から休止。3月29日迄休止延長。
- 四国内の県間移動は、観光庁「訪日外国人流動データ（FF-Data）」（2019年）（※機構DMPを用いて可視化して分析。）によると、バス、鉄道の利用が多い一方、タクシー・ハイヤーの利用が少ない傾向でした。二次交通情報が十分周知できていないことや、台数のキャパシティが足りていないなど、複数の要因が推測されます。

【旅行会社から見るニーズ】

- 当機構では、今年度、中国の現地旅行会社を対象に、四国4県と連携して「四国の観光セミナー」を実施するなかで、現地旅行会社から、もっと四国内のモデルコースや四国遍路、宿泊施設、飲食店などの情報が欲しいとの要望をいただきました。
 - その後、名刺交換をさせていただいた現地旅行会社に対し、メルマガ形式で情報発信を行ったところ、開封率の高さ（約61%）はもとより、メルマガ内の資料ダウンロードボタンのクリック率が約21%、宿泊施設・飲食店リストのクリック率が約16%と高い数値結果となっております。
- ⇒ 以上からも、四国観光の情報収集や商品造成に前向きであることが伺えます。

メールマガジンのクリック分析 (宿泊施設・飲食店リスト)

メルマガはこちらからご覧いただけます

【ホームページから見るニーズ】

- 当機構HPへの流入キーワードは、トップが「四国遍路」、続いて「小豆島」、「天使之路（エンジェルロード）」、「金刀比羅宮」、「伊予灘物語」となっています（※）。 ※Google Search Console調べ（直近12ヶ月）
- ⇒ 人気コンテンツのひとつといえる「四国遍路」に関しては、昨年度、情報発信強化として、（一社）四国八十八ヶ所霊場会のご協力のもと、各遍路寺の情報を整理・拡充しております。
- ⇒ 四国をマネジメントエリアとする当機構では、「四国遍路」の訴求はもちろんのこと、上記に挙がってこなかった徳島県や高知県の観光コンテンツなどについて更に情報発信を行い、流入キーワードの上位に挙がるような認知拡大に努めてまいります。

遍路寺情報（例）

こちらから遍路時情報をご覧ください

【SNSやOTAから見るニーズ】

- 当機構では中国（簡体字）のSNSは運用していないため、一般の傾向について紹介させていただきます。
- 下記紹介の媒体では、『四国』に特化した旅行商品情報は少ない一方、中国版InstagramといわれているRedでは、『四国遍路』関連だけで19万5千件の投稿が確認でき、投稿でツアーを紹介しているもの、さらには同投稿からのコメントで旅行の申し込みを受け付けを行っているものまで確認することができました。
- ⇒ 一般的な四国の観光地だけでなく、「四国遍路」のニーズが高いことが伺えます。また、情報発信と旅行商品の取り扱いに関しては、日本人の感覚程、SNSとOTAを区別して利用されていない現状を伺うことができます。

RED『四国遍路』検索数と掲載されている旅行商品

外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体例

参考：JNTO訪日データハンドブック2023。①③は閲覧に登録が必要

媒体名	主な機能	割合	四国関連の情報（リンク有）
① RED（レッド）（小红书：iaohongshu）	インターネット通販、口コミ情報発信	22.6%	ツアー情報と投稿が混在
② チューナー（去哪儿旅行：Qunar）	旅行予約、旅行情報発信	22.3%	有り（四国としては4件のみ）
③ フリギー（飞猪：Fliggy）	旅行予約、旅行情報発信	20.0%	JRバス、瀬戸芸チケットなど
④ トンチェン（同程：ly.com）	旅行予約、旅行情報発信	19.2%	有り（3件のみ）
⑤ マーフオンウォー（马蜂窝：mafengwo）	旅行予約、旅行情報発信	16.6%	四国遍路特集記事有り

代表理事の主な動静

- 2月12日(水) 定例会議・推進会議(当機構の会議)
- 13日(木) 日本遺産オフィシャルパートナーシップ締結式
- 23日(日) 一日一斉おもてなし遍路道ウォーク
※NPO法人遍路とおもてなしのネットワークの理事長として参加
- 26日(水) 定例会議・推進会議(当機構の会議)

後援・協賛等

事業名	主催	期間	備考(公式サイト等)
ミュージカル 「坊ちゃん劇場版KANO」	坊っちゃん劇場	2023年4月1日(土) ~2025年3月15日(土) 予定	https://www.botchan.co.jp/production.html
土佐の「おきやく」2025	土佐の「2025」推進会議	2025年3月1日(土) ~2025年3月9日(日)	https://tosa-okyaku.com/
第18作 「新 鶴姫伝説~鎧に白い花を~」	坊っちゃん劇場	2025年4月29日(火) ~2026年3月 予定	4月上演開始予定

3月の主な予定表

区分	3月
マーケティング(国内)	ANA誘遊四国キャンペーン(10月~3月) →
マーケティング(国際)	サイクルモードライド大阪2025 (3月1~2日/大阪) ←
ブランディング	理事会・臨時社員総会 (3月24日/香川) ●

(一社) 四国ツーリズム創造機構

事業推進本部 ブランディングチーム 神野、藤井

TEL : 087-813-0431 FAX : 087-813-0312

Facebook <https://www.facebook.com/t.shikoku>

Instagram <https://www.instagram.com/shikokutourism/> SHIKOKUTOURISM

